

# 令和5年度「全国学力・学習状況調査」の結果概要について

日向市教育委員会

本調査は、令和5年4月に、文部科学省が小学校6年生及び中学校3年生を対象に、「教科に関する学力調査（国語、算数・数学、英語（中学校）」と「生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査（児童生徒質問紙調査）」として、実施しました。

この調査は、国や各県及び市町村教育委員会、各学校が、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、成果と課題を検証し、今後の教育指導の充実や学習状況の改善・充実に努めることを目的としています。

## 1 調査内容

教科に関する学力調査 出題内容  【対象教科】 国語 算数・数学 英語（中学校）	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 身に付けておかなければ、後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 等</li><li>○ 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て、実践し、評価・改善する力 等</li></ul>
児童生徒質問紙調査	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査</li></ul>

## 2 本市における学力・学習状況調査の結果概要

### (1) 「教科に関する学力調査」の結果概要

#### ① 小学校

○ 算数については、概ね県の平均正答率と同じような状況であったが、国語については、やや課題が見られた。

教科	全国と比較して特に良好な内容	全国と比較して特に課題と思われる内容
国語	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えをまとめる。</li><li>○ 目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う。</li><li>● 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使う。</li></ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"><li>○ <math>(151+49) \times 3</math>と<math>151 \times 3 + 49 \times 3</math>などのような加減乗除が組み合わされた算式を計算したり、分配法則を用いたりして答えを求める。</li><li>○ 示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見出した違いを言葉と数を用いて記述する。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 示された基準量と比較量から、百分率で表された割合について理解している。</li><li>● 正三角形の意味や性質について理解している。</li></ul>

#### ② 中学校

○ 国語と数学については、やや課題が見られた。特に英語に関しては、課題となる項目が複数見られる結果であった。

教科	全国と比較して特に良好な内容	全国と比較して特に課題と思われる内容
国語	○ 古典の原文と現代語の文章とを対応させて内容を捉える。	● 自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書く。 ● 文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考える。
数学	○ 無答率の差はあまりなく、粘り強く表現しようとする意欲が見られる。	● 自然数の意味を理解している。 ● 与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取る。 ● ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明する。
英語		● 「事実・情報を伝える」と「考えや意図を伝える」という言語の働きを理解し、事実と考えを区別して読む。 ● 文と文との関係を正確に読み取る。 ● 「相手の行動を促す」という言語の働きを理解し、依頼する表現を正確に書く

(2)「学習習慣や生活習慣等に関する学習状況調査」の結果概要

① 小学校

全国と比較して特に肯定的な回答が多い内容	全国と比較して特に課題と思われる内容
○ 国語の授業の内容はよく分かる。 ○ 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれている。 ○ 学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる。 ○ 人が困っているときは、進んで助ける。 ○ 自分と違う意見について考えるのは楽しい。 ○ 今住んでいる地域の行事に参加している。	● 5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を使っている。 ● 家庭学習の課題(宿題)として、PC・タブレットなどのICT機器を使用して、英語の音声を読み取り、英語を話したりする練習をしている。

② 中学校

全国と比較して特に肯定的な回答が多い内容	今後の課題となる内容
○ 生活のリズムが整っており、寝る時間や起きる時間が決まっている。 ○ 学校に行くのは楽しいと思っている。 ○ 友達関係に満足している。 ○ 読書が好きである。 ○ 学校の部活動に参加し、週あたりの活動日数や一日あたりの活動時間が多い。	● 先生は、自分のよいところを認めてくれている。 ● 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。 ● 学校の授業時間以外に、1日当たりの勉強時間が少ない。

3 今後に向けて

- 分析した結果を踏まえながら、各小・中学校における「改善→実践→徹底・継続→定着→見届け」のサイクルを意識した授業改善に取り組みます。
- 各教科等の学習において、「必要な状況を適切に読み取る」「根拠を明確にして、自分の考えを書く」活動に意識的に取り組むとともに、全国学力調査やみやざき小中学校学習状況等の問題を活用し、題意を的確に捉える機会を充実させるなどの取組を行います。
- 日常的にICT機器を活用し、子どもたち一人一人が自分のペースに合わせた個別最適な学習を行うとともに、自他の考えを共有しながら協働的な学習が充実できるような授業づくりを行います。
- 家庭と連携し、学校での学習内容とよりつながりのある家庭学習の充実に努めます。